

## 2024年度 授業要項

区分	専門分野		履修学年/昼夜別	第1学年/昼
科目名	経絡経穴概論 I		履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格	鍼灸教員資格		使用教室	第1鍼灸普通教室
教員名	野澤 かおり			
学習目標と講義概要	経脈の流注の走行を理解し、経穴名、取穴部位を覚える。			
回数	コマ数	時間数	学習内容	
1	1	2	経絡経穴の基礎	
2	1	2	正経十二経・骨度法	
3	1	2	経脈・経穴①	
4	1	2	経脈・経穴②	
5	1	2	経脈・経穴③	
6	1	2	経脈・経穴④	
7	1	2	経脈・経穴⑤	
8	1	2	経脈・経穴⑥	
9	1	2	経脈・経穴⑦	
10	1	2	経脈・経穴⑧	
11	1	2	経脈・経穴⑨	
12	1	2	奇経八脈・奇穴①	
13	1	2	奇経八脈・奇穴②	
14	1	2	単位認定試験	
15	1	2	解答解説	
合計				
15	15	30		
学習方法				
1) 板書及び説明、解説      2) 資料の配布及び説明、解説				
評価方法				
単位認定試験				
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。				
教科書				
新版 経絡経穴概論:医道の日本社				
教員について【実務経験有】				
担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、現在も附属鍼灸院で臨床経験を積んでいる。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。				

## 2024年度 授業要項

区分	専門分野		履修学年/昼夜別	第1学年/昼
科目名	経絡経穴概論Ⅱ		履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格	鍼灸教員資格		使用教室	第1鍼灸普通教室
教員名	野澤 かおり			
学習目標と講義概要	要穴の部位確認、各経絡の経穴部位と、筋肉・神経・血管等との関係を理解する。			
回数	コマ数	時間数	学習内容	
1	1	2	要穴①	
2	1	2	要穴②	
3	1	2	要穴③	
4	1	2	要穴④	
5	1	2	要穴⑤	
6	1	2	経穴と筋、血管①	
7	1	2	経穴と筋、血管②	
8	1	2	経穴と筋、血管③	
9	1	2	経穴と筋、血管④	
10	1	2	経穴と神経①	
11	1	2	経穴と神経②	
12	1	2	経穴と神経③	
13	1	2	経穴と神経④	
14	1	2	単位認定試験	
15	1	2	解答解説	
合計				
15	15	30		
<b>学習方法</b> 1)板書及び説明、解説      2)資料の配布及び説明、解説				
<b>評価方法</b> 単位認定試験 「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。				
<b>教科書</b> 新版 経絡経穴概論:医道の日本社				
<b>教員について【実務経験有】</b> 担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、現在も附属鍼灸院で臨床経験を積んでいる。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。				

## 2024年度 授業要項

区分	専門分野		履修学年/昼夜別	第1学年/昼
科目名	東洋医学概論 I		履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格	鍼灸教員資格		使用教室	第1鍼灸普通教室
教員名	市川 隼			
学習目標と講義概要	東洋医学の全体的な特徴を掴み、考え方を学ぶ。また、身体を構成する基本物質の生理・病理を理解する。			
回数	コマ数	時間数	学習内容	
1	1	2	東洋医学の特徴①	
2	1	2	東洋医学の特徴②	
3	1	2	陰陽学説	
4	1	2	五行学説	
5	1	2	色体表①	
6	1	2	色体表②	
7	1	2	生理事物質と神①	
8	1	2	生理事物質と神②	
9	1	2	生理事物質と神③	
10	1	2	生理事物質と神④	
11	1	2	病因・病機①	
12	1	2	病因・病機②	
13	1	2	代表的な疾病	
14	1	2	単位認定試験	
15	1	2	解答解説	
合計				
15	15	30		
学習方法				
1) 板書及び説明、解説      2) 資料の配布及び説明、解説				
評価方法				
単位認定試験				
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。				
教科書				
新版東洋医学概論: 医道の日本社				
教員について【実務経験有】				
担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、現在も附属鍼灸院で臨床経験を積んでいる。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。				

## 2024年度 授業要項

区分	専門分野		履修学年/昼夜別	第1学年/昼
科目名	東洋医学概論Ⅱ		履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格	鍼灸教員資格		使用教室	第1鍼灸普通教室
教員名	市川 隼			
学習目標と講義概要	藏象(五臓六腑)の生理・病理を理解し、基礎的な病証の鑑別を出来るようにする。			
回数	コマ数	時間数	学習内容	
1	1	2	藏象①	
2	1	2	藏象②	
3	1	2	藏象③	
4	1	2	藏象④	
5	1	2	藏象⑤	
6	1	2	藏象⑥	
7	1	2	藏象⑦	
8	1	2	藏象⑧	
9	1	2	藏象⑨	
10	1	2	経絡①	
11	1	2	経絡②	
12	1	2	臓腑病証の応用①	
13	1	2	臓腑病証の応用②	
14	1	2	単位認定試験	
15	1	2	解答解説	
合計				
15	15	30		
学習方法				
1) 板書及び説明、解説      2) 資料の配布及び説明、解説				
評価方法				
単位認定試験				
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。				
教科書				
新版東洋医学概論:医道の日本社				
教員について【実務経験有】				
担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、現在も附属鍼灸院で臨床経験を積んでいる。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。				

# 2024年度 授業要項

区分	専門分野		履修学年/昼夜別	第1学年/昼
科目名	基礎実技 I		履修単位/時間	1単位/40時間
教員資格	鍼灸教員資格		使用教室	鍼灸実技室
教員名	市川 隼			
学習目標と講義概要	鍼灸師として必要な知識を学習し、鍼の基礎技術を習得する。 実技授業は、臨床を想定し刺鍼を行える唯一の場であることを理解し、技量を磨くとともに医療人としての自覚を築いていく。そして刺鍼によって起こる様々な現象を自分の身体でとらえる。臨床実習前施術実技試験等を実施し安全性を担保した上で実施する。			
回数	コマ数	時間数	学習内容	
1	1	2	ガイダンス	
2	1	2	鍼の基礎知識、実技のルール、片手挿管など	
3	1	2	刺鍼プロセス説明、片手挿管	
4	1	2	感染について、消毒法の説明、片手挿管	
5	1	2	過誤と副作用、シリコン台への刺鍼確認	
6	1	2	シリコン台への刺鍼練習①	
7	1	2	シリコン台への刺鍼練習②	
8	1	2	シリコン台への刺鍼練習③	
9	1	2	消毒、オートクレーブ、自己刺鍼の注意事項	
10	1	2	試験要項、自己刺鍼練習	
11	1	2	自己刺鍼練習	
12	1	2	セクシャルハラストメントについて、ペア刺鍼	
13	1	2	ペア刺鍼、足の陽明胃経の取穴刺鍼 I	
14	1	2	ペア刺鍼、足の陽明胃経の取穴刺鍼 II	
15	1	2	ペア刺鍼、足の陽明胃経の取穴刺鍼 III	
16	1	2	ペア刺鍼、足の陽明胃経の取穴刺鍼 IV	
17	1	2	ペア刺鍼、足の陽明胃経の取穴刺鍼 V	
18	1	2	臨床実習前施術実技試験	
19	1	2	単位認定試験	
20	1	2	解答解説	
合計				
20	20	40		
学習方法				
1) 板書及び説明、解説      2) 資料の配布及び説明、解説				
評価方法				
単位認定試験				
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。				
教科書				
はりきゅう実技基礎編				
教員について【実務経験有】				
担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、現在も附属鍼灸院で臨床経験を積んでいる。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。				

## 2024年度 授業要項

区分			専門分野	履修学年/昼夜別	第1学年/昼
科目名			基礎実技Ⅱ	履修単位/時間	1単位/40時間
教員資格			鍼灸教員資格	使用教室	鍼灸実技室
教員名			野澤 かおり		
学習目標と講義概要	鍼灸師として必要な知識を学習し、鍼の基礎技術を習得する。 実技授業は、臨床を想定し刺鍼を行える唯一の場であることを理解し、技量を磨くとともに医療人としての自覚を築いていく。そして刺鍼によって起こる様々な現象を自分の身体でとらえる。				
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	足の太陰脾経の取穴刺鍼(下肢)①		
2	1	2	足の太陰脾経の取穴刺鍼(下肢)②		
3	1	2	足の太陰脾経の取穴刺鍼(下肢)③		
4	1	2	手の陽明大腸経取穴刺鍼(上肢)①		
5	1	2	手の陽明大腸経取穴刺鍼(上肢)②		
6	1	2	手の陽明大腸経取穴刺鍼(上肢)③		
7	1	2	足の太陽膀胱経の取穴刺鍼(下肢)①		
8	1	2	足の太陽膀胱経の取穴刺鍼(下肢)②		
9	1	2	足の太陽膀胱経の取穴刺鍼(下肢)③		
10	1	2	手の小陰心経の取穴刺鍼(上肢)①		
11	1	2	手の小陰心経の取穴刺鍼(上肢)②		
12	1	2	手の小陰心経の取穴刺鍼(上肢)③		
13	1	2	足の少陰腎経の取穴刺鍼(下肢)①		
14	1	2	足の少陰腎経の取穴刺鍼(下肢)②		
15	1	2	足の少陰腎経の取穴刺鍼(下肢)③		
16	1	2	足の少陽胆経の取穴刺鍼(下肢)①		
17	1	2	足の少陽胆経の取穴刺鍼(下肢)②		
18	1	2	総まとめ		
19	1	2	単位認定試験		
20	1	2	解答解説		
合計					
20	20	40			
学習方法					
1) 板書及び説明、解説      2) 資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
単位認定試験					
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
はりきゅう実技基礎編					
教員について【実務経験有】					
担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、現在も附属鍼灸院で臨床経験を積んでいる。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。					

# 2024年度 授業要項

区分	専門分野			履修学年/昼夜別	第1学年/昼
科目名	基礎実技Ⅲ			履修単位/時間	1単位/40時間
教員資格	鍼灸教員資格			使用教室	鍼灸実技室
教員名	市川 隼				
学習目標と講義概要	きゅう施術に関する基礎的知識の習得と、対物施灸から人体施灸までの技術の習得を目的としている。また、灸に関する知識も習得する。				
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	初回ガイダンス、灸の基礎知識1		
2	1	2	衛生的な手洗いについて		
3	1	2	灸の基礎知識		
4	1	2	灸術の種類		
5	1	2	艾ひねり方1		
6	1	2	艾ひねり方2		
7	1	2	艾ひねり方3		
8	1	2	艾ひねり方4		
9	1	2	艾ひねり方5		
10	1	2	艾ひねり方6		
11	1	2	対物施灸練習1		
12	1	2	対物施灸練習2		
13	1	2	対物施灸練習3		
14	1	2	対物施灸練習4		
15	1	2	対物施灸練習5		
16	1	2	対物施灸練習6		
17	1	2	対物施灸練習7		
18	1	2	総まとめ		
19	1	2	単位認定試験		
20	1	2	解答解説		
合計					
20	20	40			
学習方法					
1) 板書及び説明、解説      2) 資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
単位認定試験					
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
はりきゅう実技基礎編					
教員について【実務経験有】					
担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、現在も附属鍼灸院で臨床経験を積んでいる。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。					

## 2024年度 授業要項

区分			専門分野	履修学年/昼夜別	第1学年/昼
科目名			基礎実技IV	履修単位/時間	1単位/40時間
教員資格			鍼灸教員資格	使用教室	鍼灸実技室
教員名			野澤 かおり		
学習目標と講義概要	灸施術の基本操作と応用を行う。様々な灸法を修得する。対物施灸から人体施灸までの技術の習得を目的としている。また、灸に関する知識も習得する。				
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	灸療法の過誤と副作用		
2	1	2	対人施灸 温灸1		
3	1	2	対人施灸 温灸2		
4	1	2	対人施灸 温灸3		
5	1	2	対人施灸 温灸4		
6	1	2	対人施灸 粗悪艾を用いて知熱灸1		
7	1	2	対人施灸 粗悪艾を用いて知熱灸2		
8	1	2	対人施灸 棒灸1		
9	1	2	対人施灸 棒灸2		
10	1	2	対人施灸 棒灸3		
11	1	2	対人施灸 隔物灸1		
12	1	2	対人施灸 隔物灸2		
13	1	2	対人施灸 上質艾を用いて知熱1		
14	1	2	対人施灸 上質艾を用いて知熱2		
15	1	2	対人施灸 上質艾を用いて知熱灸3		
16	1	2	対人施灸 上質艾を用いて知熱灸4		
17	1	2	対人施灸 上質艾を用いて知熱灸5		
18	1	2	総まとめ		
19	1	2	単位認定試験		
20	1	2	解答解説		
合計					
20	20	40			
学習方法					
1)板書及び説明、解説      2)資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
単位認定試験					
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
はりきゅう実技基礎編					
教員について【実務経験有】					
担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、現在も附属鍼灸院で臨床経験を積んでいる。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。					



## 2024年度 授業要項

区分	専門分野		履修学年/昼夜別	第1学年/昼
科目名	基礎実技Ⅴ		履修単位/時間	1単位/40時間
教員資格	鍼灸教員資格		使用教室	鍼灸実技室
教員名	加瀬 静馬			
学習目標と講義概要	刺鍼における基本操作技術の確認。 鍼の手技操作を理解して知識を身に付け、実技が出来るようにする。 触察をし解剖学を理解し正確に取穴をし刺入する。			
回数	コマ数	時間数	学習内容	
1	1	2	ガイダンス	
2	1	2	基本技術の確認①	
3	1	2	基本技術の確認②	
4	1	2	鍼の手技について①	
5	1	2	鍼の手技について②	
6	1	2	鍼の手技操作と自己下腿刺鍼①	
7	1	2	鍼の手技操作と自己下腿刺鍼②	
8	1	2	鍼の手技操作と自己下腿刺鍼③	
9	1	2	鍼の手技操作と自己下腿刺鍼④	
10	1	2	手技操作と下肢骨の触察①	
11	1	2	手技操作と下肢骨の触察②	
12	1	2	腰部後面の骨の触察と刺入①	
13	1	2	腰部後面の骨の触察と刺入②	
14	1	2	腰部後面の骨の触察と刺入③	
15	1	2	腰部前面の骨の触察と刺入①	
16	1	2	腰部前面の骨の触察と刺入②	
17	1	2	腰部前面の骨の触察と刺入③	
18	1	2	総まとめ	
19	1	2	単位認定試験	
20	1	2	解答解説	
合計				
20	20	40		
学習方法				
1) 板書及び説明、解説      2) 資料の配布及び説明、解説				
評価方法				
単位認定試験				
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。				
教科書				
はりきゅう実技基礎編				
教員について【実務経験有】				
担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、現在も附属鍼灸院で臨床経験を積んでいる。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。				

## 2024年度 授業要項

区分	専門分野		履修学年/昼夜別	第1学年/昼
科目名	臨床実習 I		履修単位/時間	1単位/45時間
教員資格	鍼灸教員資格		使用教室	臨床実習室
教員名	大野 政明 、 野澤 かおり 、 加瀬 静馬			
学習目標と講義概要	医療従事者として臨床における注意事項を理解し実行出来る。鍼灸臨床においてリスクを理解し、管理出来る。患者への気配り・配慮が出来る。			
回数	コマ数	時間数	学習内容	
1	1	2	身なり、言葉遣いなどの社会的マナー①	
2	1	2	身なり、言葉遣いなどの社会的マナー①	
3	1	2	身なり、言葉遣いなどの社会的マナー①	
4	1	2	医療倫理の理解①	
5	1	2	医療倫理の理解①	
6	1	2	医療倫理の理解①	
7	1	2	鍼灸の過誤・事故について①	
8	1	2	鍼灸の過誤・事故について①	
9	1	2	鍼灸の過誤・事故について①	
10	1	2	ベットサイドワーク①	
11	1	2	ベットサイドワーク①	
12	1	2	ベットサイドワーク①	
13	1	2	患者の観察①	
14	1	2	患者の観察②	
15	1	2	患者の観察③	
16	1	2	患者の観察④	
17	1	2	患者の観察⑤	
18	1	2	患者病態把握①	
19	1	2	患者病態把握②	
20	1	2	患者病態把握③	
21	1	2	総まとめ	
22	1	2	単位認定試験	
23	0.5	1	解答解説	
合計				
23	22.5	45		
学習方法				
1) 板書及び説明、解説      2) 資料の配布及び説明、解説				
評価方法				
単位認定試験				
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。				
教科書				
講師作成資料				
教員について【実務経験有】				
担当の全教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、現在も附属鍼灸院で臨床経験を積んでいる。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。				

# 2024年度 授業要項

区分	専門分野		履修学年/昼夜別	第1学年/昼
科目名	総合領域 I		履修単位/時間	4単位/120時間
教員資格	鍼灸教員資格		使用教室	第1鍼灸普通教室
教員名	市川 隼、加瀬 静馬、野澤 かおり、仲條 佐登美、大野 政明			
学習目標と講義概要	<p>本次まで学んだはり師・きゅう師に必要な臨床的知識を総合的に修得し、適正な判断のもと現代医学的または伝統医学的な方法をもって患者に不利益を生じさせない施術を行える知識を獲得する。</p>			
回数	コマ数	時間数	学習内容	
1～5	5	10	はり師・きゅう師における現代医学の基礎1（1年次で学んだ人体構造の知識を再構築する）	
6～10	5	10	はり師・きゅう師における現代医学の基礎2（1年次で学んだ人体構造の知識を再構築する）	
11～15	5	10	はり師・きゅう師における現代医学の基礎3（1年次で学んだ人体構造の知識を再構築する）	
16～20	5	10	はり師・きゅう師における現代医学の基礎4（1年次で学んだ人体機能の知識を再構築する）	
21～25	5	10	はり師・きゅう師における現代医学の基礎5（1年次で学んだ人体機能の知識を再構築する）	
26～30	5	10	はり師・きゅう師における現代医学の基礎6（1年次で学んだ人体機能の知識を再構築する）	
31～35	5	10	はり師・きゅう師における伝統医学の基礎1（1年次で学んだ東洋医学の知識を再構築する）	
36～40	5	10	はり師・きゅう師における伝統医学の基礎2（1年次で学んだ東洋医学の知識を再構築する）	
41～45	5	10	はり師・きゅう師における伝統医学の基礎3（1年次で学んだ東洋医学の知識を再構築する）	
46～50	5	10	はり師・きゅう師における伝統医学の基礎4（1年次で学んだ経絡経穴の知識を再構築する）	
51～55	5	10	はり師・きゅう師における伝統医学の基礎5（1年次で学んだ経絡経穴の知識を再構築する）	
56～58	3	6	はり師・きゅう師における伝統医学の基礎6（1年次で学んだ経絡経穴の知識を再構築する）	
59	1	2	単位認定試験	
60	1	2	解答解説	
合計				
60	60	120		
学習方法				
1) 板書及び説明、解説      2) 資料の配布及び説明、解説				
評価方法				
単位認定試験				
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。				
教科書				
解剖学 東洋療法学校協会編：医歯薬出版社      生理学 東洋療法学校協会編：医歯薬出版 東洋医学概論 東洋療法学校協会編：医道の日本社      経絡経穴概論 東洋療法学校協会編：医道の日本社				
教員について【実務経験有】				
担当の全教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、現在も附属鍼灸院で臨床経験を積んでいる。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。				